

3. 薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂に合わせた教育研究活動あるいは学部教育・大学院教育の質を向上させるための独自の教育研究活動

(組織・教育課程の改編、カリキュラム改訂、実務実習の実施体制・内容の変更等)

以下に参画大学の事業成果報告をもとに、年度毎に、実施大学別に教育研究プログラムとその概要をまとめた。事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されているが、紙面の関係上本報告書には掲載していない。これらについては、各実施大学のホームページ等で公開することとしているので、ご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2016年（平成28年）度】

<東北大学>

- ・科目名セルフメディケーション学（1単位）を薬学科4年次生を対象に開講している。

<金沢大>

- ・英語によるコミュニケーション能力の養成と国際感覚の醸成を目的に、2年生前期に、短期海外留学プログラムを開講している。
- ・実務実習後、さらにアドバンスな内容を学びたい学生のために、選択科目「病院実習II」（旧カリキュラム）ないし「チーム医療実習」（新カリキュラム）を開講している。

<名古屋市立大学>

- ・地域と育む未来医療人「なごやかモデル」（名古屋工業大学、名古屋学院大学との連携）を実施している。
- ・コミュニティヘルスケア 卒前教育プログラムとして学部横断型授業を実施している（1年次生～6年次生）

<岡山大学>

- ・キャンパスアジアナノ・バイオコース「国際連携薬学セミナー」（岡山大学）として、2013年度から実施していた成均館大学薬学校（韓国）で開講されている英語での専門科目（2～3科目）の受講及び成均館大学の学生との交流の事業を2016年度から正規授業「国際連携薬学セミナー」（0.5単位）として開講している。

<九州大学>

- ・多職種連携教育（IPE : Interprofessional education）として医学部医学科、医学部看護学科、歯学部、薬学部の合同で行う医療系統合教育（3年次から4年次）を実施している。